

くらしの願いに応える事業と活動を、 コープあいちの総合力ですすすめます

1

商品事業

くらしの願いに応える商品力の強化で、利用結集と組合員参加の活動をつよめます

- ① 利用の結集でくらしに必要な商品をより利用しやすくします。
- ② コープブランドの価値を高め、認知度を高める取り組みをすすめます。
- ③ 産消提携活動(産直活動)を再構築し、「あいちを食べよう日本の食を大切に!」の活動をさらに広げます。
- ④ 生産者・組合員とともに社会的意義ある商品を通した取り組みをすすめます。
- ⑤ 国際協同組合年を契機にした商品企画としてフェアトレード商品の取り扱いを広げます。
- ⑥ 多様な取り組みで組合員参加の商品づくりを広げます。
- ⑦ 食の安全に関わるリスクコミュニケーションや、食育の活動を広げます。
- ⑧ 消費税増税への反対の姿勢を明確にし、一方では事業対応の準備もすすめます。



2

共同購入事業

くらしになくてはならない事業として成長させます

- ① 組合員のくらしの願いに応える事業をつくります。
- ② 仲間づくりの総合的な計画を策定し実践する体制を強化します。
- ③ ITやタブレット端末など利用しやすいしくみの開発をすすめます。
- ④ 配達品質の向上、職員の力量向上をはかります。
- ⑤ 班のあり方について協議をすすめます。



3

店舗事業

地域で一番支持される店舗をめざします

- ① 農・水・畜・惣菜の4分野のあるべき姿を店舗のパターン別に描き、4分野の強化をすすめます。
- ② お店としてのスタンダードレベルを確立し、運営、品揃え、企画の統一による損益改善をすすめます。
- ③ 閉店基準や出店基準を含む店舗政策の確立と合意形成を組合員と一緒にしない、事業構造改革のためのフォーマットの整理をすすめます。
- ④ 「わたしがほしい商品」がしっかりと品揃えされている、生協の魅力があふれるお店づくりをすすめます。

